

その他の重要な事業

社会経済状況および市民ニーズの変化を踏まえた取り組み

AI・IoT・RPA 等先進技術導入検討事業
予算額 1,298万 8,000円

業務効率化を推進するため、AI・IoT・RPAなどの導入について検討を実施

【拡充内容】

市民の利便性向上のため、市ホームページにAIチャットボット（※2）を設置し、問い合わせに24時間365日対応できる体制を整備

（※2）AIチャットボットとは…PC・スマートフォン等からの利用者の問い合わせに自動で回答するアプリ。

地域エネルギープロジェクト事業化支援事業
予算額 1,023万 6,000円

脱炭素・循環型のまちづくりの実現を図るため、産学官金連携による事業化支援、公共施設等への再生エネルギー導入に係る調査や二酸化炭素排出量の推計に基づいた事業の検討を実施

【拡充内容】

小型バイオガス化設備導入可能性調査を実施

水防事業
予算額 4,775万 9,000円

水害対策のための土のう対応や、民間事業者を活用した雨量予測などの支援サービスを実施

【拡充内容】

水害対策のため、排水ポンプシステムを導入

市民協働による取り組み

地域に踏み出すひとづくり推進事業
予算額 103万円

まちづくり活動等に意欲はあるが一歩踏み出せない人などを対象に、職業や年代を越えて気軽に協力できるコミュニティを作るとともに、既存の地域活動への参加等を通してまちづくりの当事者を育成

ひろさきガイド学校運営事業
予算額 300万円

多様なガイドが共存し、活躍できるよう地域のガイド基盤の構築・強化を図るため、行政・観光事業者・ガイド団体等の参画による、ひろさきガイド学校を運営し、養成講座等を実施

3 未来の健康

地域の未来を担うひとづくり

地域づくりに関わる人材やさまざまな地域産業の担い手が育ち、地域の未来を担う多様な人材が活躍する「未来の健康」の実現を目指します。

『学ぶ力』向上事業

予算額 1,402万 1,000円

小・中学校の子どもたちの「学ぶ力」向上を図るため、国および県の学習状況調査の分析や「学ぶ力」向上研修会を開催

【拡充内容】

小・中学校の全児童生徒へのAIドリル導入を支援

地元就職 マッチング支援事業

予算額 1,275万 5,000円

地元大学生や県外在住者等の地元就職を促進させるため、地元企業の情報発信や県外からのUJIターン就職等を推進するほか、企業が実施する人材定着事業を支援

【拡充内容】

東京圏UJIターン就職等支援金にかかる子育て世帯への上乗せ額を引き上げるほか、企業の福利厚生、奨学金返還支援制度の新設やインターンシップを実施する際の経費の一部を補助

小・中学校 改築事業

予算額 14億 7,921万 3,000円

建築から50年以上が経過し、老朽化が進む小・中学校を改築

【拡充内容】

石川小・中学校および第二中学校の整備に加え、新たに桔梗野小学校の改築に向けた調査に着手

2 まちの健康

快適な暮らしを送れるまちづくり

快適で豊かな住みよい生活環境が整い、地域経済が活力に溢れる、まちも自然も産業もすべてのものが元気で健康な「まちの健康」の実現を目指します。

健康づくりのまちなか拠点整備事業

予算額 1億 1,256万 1,000円

「健康づくりのまちなか拠点」の整備にあたり、旧市立病院改修にかかる実施設計、旧第一大成小学校跡地整備にかかる基本設計および整備後の拠点活用に関するワークショップなどを実施

企業立地 推進事業

予算額 6,206万 7,000円

新たな企業を誘致するとともに、雇用の創出を図るため市内企業の事業拡大を促進

【拡充内容】

健康医療関連企業誘致のトップセールスおよび先進地視察を実施するほか、健康医療関連業務を行う誘致企業に対する各種補助金を追加

まちなか お出かけ パス事業

予算額 1,066万 4,000円

公共交通の利用促進を図るため、運転免許証自主返納者を含めた高齢者に対し路線バス、弘南鉄道大鰐線および乗合タクシーの運賃負担を軽減

【拡充内容】

対象者数を500人から800人へ拡充

1 ひとの健康

すべての市民が健康で長生きできるまちづくり

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、まち全体で健康増進に取り組む「ひとの健康」の実現を目指します。

子ども医療費 給付事業

予算額 5億 87万 9,000円

子育て家庭の負担軽減を図るため、子どもが保険診療を受けた際の医療費を給付

【拡充内容】

令和5年4月1日から所得制限を撤廃し、満18歳に達した日の属する年度末までの通院・入院にかかる医療費（保険診療分）の自己負担分について、所得制限を設けずに給付

健康とまちのにぎわい創出事業

予算額 3,895万 8,000円

働き盛り世代など広く市民の健康と中心市街地の賑わい創出を図るため、健康をテーマとした賑わい創出事業やQOL健診（※1）普及に向けたモデル事業等を実施

【拡充内容】

弘前大学と連携しながら「健康都市弘前」の実現に取り組む「まちかつ弘前³C（キューブシー）」の活動で出たアイデアなどを試行的に実施

高齢者 介護予防 運動教室事業

予算額 5,065万 3,000円

高齢者の健康づくりや介護予防を図るため、各種運動教室を開催

【拡充内容】

筋力向上トレーニング教室において、一部の参加者に対しQOL健診（※1）を実施

（※1）QOL健診とは…弘前大学が開発した、その場で測ってその日のうちに結果を知ることができる健診。